

熊本市歯科医師会会誌

第 40 号



1982. 7

目 次

会員あいさつ.....	2
新執行部あいさつ.....	3
市歯科医師会名簿.....	9
浜坂先生祝賀会.....	15
母と子のよい歯のコンクール.....	18
学校保健会総会.....	21
補助者講習会.....	24
新樹会 運動会.....	26
会員配置図.....	28

勉強部屋

咬合面形態について.....	29
----------------	----

本日休診

私のヨットライフ.....	30
---------------	----

56年度市歯科医師会歳入歳出決算書.....	33
------------------------	----

57年度市歯科医師会歳入歳出現況.....	34
-----------------------	----

会務報告.....	35
-----------	----

告知板

新入会員紹介.....	37
-------------	----

新入職員紹介.....	37
-------------	----

編集後記.....	38
-----------	----

会長あいさつ



熊本市歯科医師会

会長 川崎 正 士

『五十年一瞥』とは良く言ったものだと思います。私開業して早や三十有余年になりなんとかしていますが、その当時を思い浮かべて見ると、現在との隔差の余りにも激しさを痛感いたします。之は私のみならず、明治、大正生れの方々は勿論のこと、昭和初期の方々も同感だと思います。吾々歯科医業のみならず、全ての業界に於てしかりです。自動車王国と呼ばれ、全世界を君臨した米国の自動車産業でさえ、小国の日本に先を越された事実是否定出来ません。

今や人間の頭脳は世界の全てを変えつつあります。新聞紙上では文明利器の情報が紹介され、目のあたりに実物を見て、私のような凡人には想像も及ばないものばかりで、将来はいかになるものかと危惧の念にたえないものです。私達の業界でも患者を前にして、器械が診断を下し、処置をする時代が到来するのではないかと一人よがりに考えることもあります。

足踏み切削器より電気エンジン切削器への変化も当時では一大革命でしたでしょうが、昭和三十年初期のエアータービン切削器は私

共には又々の大革命となったと思います。タービン切削器の出現により、保存、補綴等歯科治療の進歩もありえたと考えても過言ではないと思います。

医療並びに機器の進歩には私共万来の拍手を送るのですが、半面世界経済の危機の到来、医療費の抑制、特祖法の廃止、新規開業医の都市集中化等により、二重、三重の圧迫を受け、私共業界にも来るべきものが来た感がいたします。

数年前までの華やかさとまではいかないまでも、ある程度の良き時代は忘れ、今後は全ての面で厳しさに対処していかなければならないと考えます。歯科医師としての地域住民に信頼感を深め医療の高揚につとめることが私共の責務ではないでしょうか。



新執行部あいさつ



副会長

園田 守生

この梅雨空の様にあまり明るいニュースのない歯科界である。歯界を展望するにはあまりにも困難なる問題の多い昨今ではあるが、この様な時期に副会長の任命を受けた事にあらためてその責任の重要性を痛感せずにはいられない。

生物の様々な疾患に対して医療というものが分化して来たのであるが、その中で歯科の占める役割を今一度医療の原点にもどり考えねばならぬ時期ではなかろうか。

社会情勢、経済情勢の変化にともない医というものの本質が変化して来ているようにも思える。医には病気を治療する事であると同時に生物の心を治療するものである。我々はいはもって疾患者の立場を理解し又疾患者の心の中に積極的に浸透していかなばならぬ。その中で真の医はその役割を発揮するのである。今年度より3年間、川崎会長の意志を受け強力なる市歯科医師会の本質をめざしたいと思っております。



専務理事

山室 紀雄

昭和五十年四月より前緒方会長、そして現川崎会長の下で、社団法人熊本市歯科医師会の専務理事として約七年間執行部一体となつて会の執行にあたって参りましたが、その間大過なく今日に至りました事は会員各先生方の御協力によるものと深く敬意を表します。

本年は役員の改選期で再度川崎先生が会長に就任され、不肖私が又専務理事として指名を受け、責任を痛感すると共に心を新に致しております。

各担当理事も全員交代し、若くて各人個性の強い先生方が理事に就任され、今迄とは又多少とも変つた観点から会の運営にあたることも出来るのではないかと大いに期待をしております。

しかしながら近年我々を取りまく環境はあまりにもきびしいものがあります。目前にかかえている諸々の問題に取り組み、専務理事として当然の事ながら会長、副会長を補佐し、総括的視野に立って、広く会員各先生方の意見を拝聴し、微力ながら社団法人、熊本市歯科医師会の発展の為に、新執行部一丸となつて努力して参ります。

最後になりましたが、先生方の御健康を御祈りすると共に、川崎執行部への協力の程を宜敷くお願い致します。



常務理事

宇都宮 啓一

私の将来の希望、振返ってみると最近そういう事は殆ど頭の中になかった様な気がする。これを機会に考えてみることにしよう。我々中年男性の希望とは何だろう。平凡だが明るい家庭を作ることだろうか、又仕事に忠実に生きることだろうか、それも間違いではないだろう。しかしそれだけではないだろう。勿論バラ色の希望という訳にはいかないが……もっと夢を持つべきだと思う。色々考えている内に小さくてもっと身近な事であるべきだと気がついた。

それは人との心のふれ合いを大事にしながら明るい人生を送る。一人一人がそうであれば明るい安定した社会を築くのもそう困難な事では有るまい。

幸い私には親友を始め友人が大勢居る。その友人達との人間関係を大切にしながら又土台としながら光ある前向きの人生を築き上げて行こうと思う。

結局先に述べた平凡であるが家庭を守り天職である仕事を精力的に行うことしか無い様に思われる。

それが私の義務であり目的ではなからうか。



広報担当理事

関 剛一

人類が作り出した文明は偉大なものである。地球上で生活するにはあまりにもかぎられた資源であり、現在すでにスペースコロニー計画が進んでおり地球上の人類が宇宙に居住出来るのも遠くはあるまい。しかし文明の進歩と共に我々人類は母なる地球上でその心を失ってはならないし、あまりにも平和な社会に於て人類はその生活の基礎たるものを忘れがちである。歯科疾患は文明病というのが決してそうではない。それはやはり人類が作り出すものであり又文明の進歩に反比例した人類の怠慢なる心の隙に出来る結果ではあるまいか？

人類の健康を維持させる為に我々歯科医師はアクティヴにもパッシヴにもバランス良く一般国民に接していかなければならない。

今年度より3年間広報担当理事に任命されました。前担当理事を見本にし、より活動的、前進的な広報活動に努めるつもりであります。諸先生方の御指導を御願い致しますと同時に御協力の程を御願い致します。





医療管理担当理事

牧 野 敬 美

昭和57年度より日本歯科医師会と併せて熊本市でも新執行部が3年間の任期でスタートしたわけですが、私も始めて執行部に入り、医療管理を担当することになりました。

現在の社会情勢からしますと非常に重要な部門で、税務、労務、患者管理など範囲の広い分野だと痛感しています。委員会も8人のメンバーで構成し、各自一つ一つ身近な問題から取組もうと張切っています。今のところアンケート作りの仕事をしていますが、会員の先生方の御協力がなければ出来ない事では是非ともお願い致します。

医業の中で歯科というのは景気の浮沈に非常に影響を受け易く、先生方も頭の痛いところと推察致します。従って、対社会的に正確な情報を会員一人一人が充分把握出来るようにお互いしっかりと手を握り合う必要があり、歯科界も尚一層団結しなければならない時期と思います。会の発展の為私達医療管理委員一同も一致団結して微力ながら努力致す所存ですので、これから3年間会員の先生方の御指導、御鞭撻を宜敷くお願い申し上げます。



厚生担当理事

菅 原 洋

今度、厚生担当の大任をおおせつかり、厚生とは何か?、と解らぬままにお引受けしましたが、会員の健康管理及び親睦の意味もっています。熊本市は会員の親睦を最大テーマとし、例年、バレーボール大会、ピクニック、新年パーティーが三大大行事を取り行って来ましたが、最近では出席者は毎回同じ顔ぶれの先生方で本当の親睦といえるかどうか、もう一度、全会員平等主義の立ち場より、厚生とは何んだ?、厚生と会員、厚生と各支部、と云う問題を問い直し、いわゆる御年輩の会員の先生から、若手の会員の先生までが一同に介する場をつくる事が親睦であり、人と人との触れ合いが団結です。厚生とは人集めであり、会員の御理解と御協力がなければ何も出来ません。

- ① 各支部（支部長と会員）の交流
- ② 日常の健康管理のアドバイス
- ③ 全会員の一泊旅行の実現、

以上の事の実現の為、微力ではありますが、委員会一同で全力を注ぎますので、先輩諸先生方からの御指導、御協力をお願い致します。



学校歯科担当理事

鈴木 勝 志

公衆衛生の普及向上という事が会の定款にも又国民的場に於て叫ばれ、先人達が歩んで来た業績は無視することは出来ません。学校歯科もその一端を荷っている事は事実ですし、会の歴史的流れの中で対外的行動として広く市民に、特に児童生徒に対しての活躍は学校歯科医としての仕事で大いに貢献して来たと言えます。又歯科医として日本国からライセンスを貰っている我々にとってこれが権利ならば当然義務が生じるわけで、地域住民に対する口腔衛生思想の普及向上は我々が果さなくてはならないという使命をおびている事も事実であると考えます。

未来を背負っていく子供達の為に今我々が成し得るものは何か考えてゆきたいと思えます。それには会員の諸先生方の学校歯科に対する御理解と御協力がなくては出来ない事がありますので、どうか宜しくお願い申し上げます。



社保担当理事

浜 坂 浩 一 郎

今の度、山室先生の後を受け継ぎ、市社保委員会を預かることになりました。私自身、

社保委員としての経験も浅く、又勉強不足もありまして、十分に皆様方の御役に立つ事ができるか、少々心もとない気がいたしておりますが、他の6人の委員の先生方と共に頑張っていきたいと思えます。

私共市社保委員会の抱負といたしましてはあくまでも皆様方の代弁者として、御質問や御意見を的確に把握して、県社保委員会に直結せしめるパイプ役として、御役に立てれば幸いだと考えております。

市社保委員会は、社保に関する皆様方の率直な御意見、御質問、御不満などお待ちしております。市歯科医師会社保委員会宛、文章にてお寄せ下さい。



口腔衛生担当理事

田 島 宗 穂

近年医療技術の向上と共に衛生思想の普及がいちじるしく良くなったとは言え、虫歯に対しては依然日本国民の90%近く罹患している状況を考えますと、私の担当する口腔衛生の活動もより一層、市民の皆さんへの開かれた歯科医師会事業として誠心誠意活動して行きたいと思えます。本年度の本委員会事業としては熊本市立保健所とタイアップして『母と子の良い歯のコンクール』審査(21組)を行い優秀賞には、田中文子・智美、小野照代・陽子、優良賞に4組を選出しました。

次には今週熊本市立の幼稚園児を対象にフッ素塗布を2回行う予定です。又4月より毎月1回程度委員会を開催し、委員の先生方と活発な意見を交換し、口腔衛生に関する知識を深めるべく努力しております。もう一つ考えをふくらませると、熊本市民健康展、又は市民健康講座等を開催し、市民の皆様の口腔衛生知識の向上につとめ、私達の地域医療に対する奉仕活動の一端と理解し、熊本市役所あるいは熊本市医師会とも綿密に連絡をとり、実のある事業として行きたいと思ひます。



学術担当理事

伊 東 隆 利

厚生省の目標とした人口10万人に歯科医師50人は、その達成目標年度の昭和60年をはるかに早く、成就しています。

いろいろなところで、この多くなりすぎた歯科大学、歯科医師をどうするか、「やれ、患者が減った、収入が減った、歯科医院の倒産?」など、話のタネになってから久しいと思ひます。

しかし、ここで発想の転換です。歯科医師1人1人が、少なくなった患者に、G.P.(General Practitioner)として、たてから、よこから、斜めから——ということは、保存の立場から、Perioの立場から、口腔外科の立場から、補綴的に、矯正的に診断し——治療を行う、また時間的にも、1個人を小児

から、成人、果ては老人に至るまで面倒をみるというように、より充実した歯科医療を行うことが、まさに出来る時代になるということではないでしょうか。

今、熊本市内にも、かつては象牙の塔、大学病院でしかやらなかった、あるいはやれなかった専門的な医療をG.P.をやりながらやっておられる先生がボツボツ出始めています。このようなことは押しよせる患者を、単にさばいていた時代には不可能なことではなかったでしょうか?

世は、歯科医療充実の時代にならねば、我々は単に競合したり、反目するだけの人間でしかなくなるのではないのでしょうか?

確かに、もっと保険点数が高くなれば、やれないじゃないか、と云う声も強いと思います。しかし、自分の医療を充実させる為には、自分自身に対する進歩する歯科医学の充電がそれ以上に大切ではないでしょうか。

私達学術委員会は、先生方の身近な問題点をとりあげ、先生方の生涯教育、自分自身への充電に、お役にたてばと思っています。

ご希望、ご助言ありましたら、お伝え下さいますようお願い申し上げます。



監事

河 野 好 孝

昭和19年春、歯科医専の門をくぐった時は、世の中、戦時色一杯の殺伐とした世相で

あった。

学校はそっちのけで、田植え、稲刈り、又甘藷掘りと農作業と思えば、強制疎開の家倒し、歯科医学（ハカイガク）の勉強だ、卒業したら土建屋だぞ、と冗談ばかり、勉強らしい勉強もせず、何となしに卒業、国家試験、そして開業、それから35年、どう見たって駄目な歯科医、それが、はしなくも、市歯科医師会の監事の役職、それも杉野先生、小堀先生と同窓の大先輩の後、私なんかは何も出来るはずがない、と思いながらも、私も市歯科医師会の一会員、これも何かの罪滅し、諸先生方の為に何かの役に立てば、と思い、つい引受けてしまい、今更の如く、その責務の重さに押潰されそうな感で一杯です。然し、与えられた役目は任期一杯やり遂げるつもりでいますので、よろしくお願いします。又、諸先生方の何等かのご意見、ご要望に答えられるように頑張るつもりでいますので、今後、何卒よろしくご指導、御鞭撻のこと、お願い致します。



監事

山隈龍祥

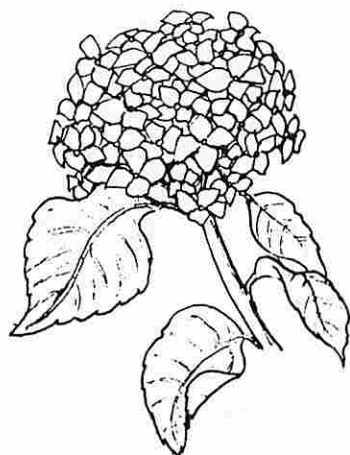
今度び推薦により監事の大役を受け、責任の重大さを痛感し、微力ながら会の発展のために、尽力致す所存であります。

監事は、昔ふうと言うと、大目付の役職で、地位と権限を持って羽振りをかきせる嫌われ

役の代名詞かのように言われていたが、現在では民主主義の社会で当然民主主義のもとで仕事をしなくては会務の遂行には役立たぬものと考えます。そのためには、各役員方々の人格を尊重し、尊敬し、又信頼し、各自の担当業務がスムーズに遂行出来るように協力し指導することが監事の義務役割と考えます。

又会員の貴重な会費を預り会の運営に当たっていますので、使途については効果的に、且つ無駄な出費の防止に努め、明るい会計が出来るように各役員に呉々もお願いするところです。

何はともあれ、会長を中心に役員一同仲良く楽しく、愉快に和気あいあいのうちに会務が遂行され発展することを希望致します。



熊本市歯科医師会

会 長	川 崎 正 士	5 2 - 8 0 0 8
副 会 長	園 田 守 生	6 4 - 5 4 6 4
専 務 理 事	山 室 紀 雄	8 1 - 3 4 1 2
常 務 理 事	宇 都 宮 啓 一	8 2 - 3 4 1 9
理 事	関 剛 一	5 3 - 0 2 1 2
〃	牧 野 敬 美	5 2 - 5 7 7 4
〃	菅 原 洋	5 2 - 7 4 1 3
〃	鈴 木 勝 志	5 2 - 3 6 6 3
〃	浜 坂 浩 一 郎	6 6 - 9 6 5 3
〃	田 島 宗 穂	6 4 - 9 6 9 2
〃	伊 東 隆 利	4 3 - 0 3 7 7
監 事	河 野 好 孝	5 7 - 9 2 5 6
〃	山 隈 龍 祥	4 4 - 3 0 2 1

中央部 支部長	元 島 博 信	2 2 - 6 4 6 5
北部 1 〃	弥 政 富 士 雄	2 2 - 3 6 3 1
北部 2 〃	岩 本 義 人	4 3 - 0 6 3 9
東部 1 〃	坂 梨 常 太 郎	6 6 - 1 8 1 1
東部 2 〃	堀 川 義 治	8 3 - 1 8 2 7
東部 3 〃	堀 川 秀 一	8 1 - 5 3 4 6
東部 4 〃	才 田 雅 英	6 8 - 5 8 5 0
西 部 〃	栗 原 幸 紘	5 3 - 6 0 6 7
南 部 〃	柿 原 康 男	6 4 - 3 8 1 2
小 島 〃	坂 元 一 夫	2 9 - 8 9 0 2
川 尻 〃	富 岡 浩 雄	5 7 - 9 1 4 6

委 員 会 名 簿

(○印は委員長)

委 員 会 名	人 数	№	氏 名	T E L
広 報	8名	1	関 剛 一	53-0212
		②	坂 本 憲 昭	66-1358
		3	寺 脇 博	56-7778
		4	緒 万 孝 則	44-9149
		5	浜 坂 浩	54-2133
		6	奥 村 敏 之	53-5448
		7	寺 島 美 史	78-9361
		8	松 原 邦 衛	81-8148
医 療 管 理	8名	1	牧 野 敬 美	52-5774
		②	久保田 晴 一	57-2421
		3	千 場 正 昭	52-0686
		4	永 野 秀 雄	44-5224
		5	小 田 和 人	67-3618
		6	友 枝 和 夫	39-4593
		7	徳 永 俊 英	65-1971
		8	河 野 哲 朗	57-9256
社 保	7名	1	浜 坂 浩 一 郎	66-9653
		②	富 岡 浩 雄	57-9146
		3	上 村 次 郎	56-7894
		4	中 西 一 夫	67-7808
		5	富 田 久 之	64-0938
		6	松 本 真 典	25-3071
		7	本 田 亘	62-3613

委 員 会 名	人 数	№	氏 名	TEL
厚 生	9名	1	菅 原 洋	5 2 - 7 4 1 3
		②	有 吉 啓 一	5 2 - 6 5 7 7
		3	内 田 隆	6 6 - 9 4 0 4
		4	緒 方 敏 克	4 5 - 1 7 6 6
		5	北 克 己	5 3 - 3 8 2 8
		6	古 賀 明	6 4 - 8 3 5 1
		7	住 本 和 隆	5 2 - 5 7 5 3
		8	吉 永 誠 一 郎	8 2 - 7 3 3 8
		9	坂 元 和 彦	2 9 - 8 9 0 2
学 校 歯 科	9名	1	鈴 木 勝 志	5 2 - 3 6 6 3
		②	合 澤 康 生	6 5 - 3 0 2 1
		3	片 山 隆 昭	6 7 - 4 5 8 8
		4	斉 藤 健	4 4 - 8 1 8 0
		5	藤 波 好 文	4 5 - 7 3 2 5
		6	松 本 一 之	8 3 - 6 0 3 1
		7	山 村 定 信	8 9 - 1 7 1 7
		8	中 川 順 一	2 5 - 3 1 5 6
		9	太 田 憲 生	6 7 - 9 6 6 5
学 術	8名	1	伊 東 隆 利	4 3 - 0 3 7 7
		②	堀 川 秀 一	8 1 - 5 3 4 6
		3	藤 波 剛	6 4 - 9 0 2 5
		4	岩 村 泰 行	8 2 - 3 5 8 8
		5	緒 方 史 朗	5 2 - 3 3 6 6
		6	成 松 賢 二	5 7 - 3 6 9 2
		7	斉 藤 朗	5 2 - 7 7 7 9
		8	大 嶋 健 一	4 3 - 7 0 0 7

委 員 会 名	人 数	№	氏 名	TEL
口 腔 衛 生	8名	1	田 島 宗 穂	64-9692
		②	岡 田 知 久	63-4871
		3	青 木 道 育	43-3437
		4	分 山 和 男	26-2113
		5	岡 本 寛	84-4182
		6	矢毛石 豊	38-7018
		7	村 上 辰 郎	79-3588
		8	弥 永 康 博	26-3272
資 格 審 議	4名	1	大 関 英 明	52-4271
		2	杉 野 政 敏	52-8016
		3	西 田 健 吉	38-8324
		4	林 正 之	52-2778
選 挙 管 理	5名	1	伊 東 武 嗣	43-0377
		2	林 田 充 成	52-9607
		3	久保田 三 男	57-2421
		4	小 堀 大 介	52-1959
		5	鶴 田 実 馬	68-2319
裁 定 審 議	5名	1	林 田 充 成	52-9607
		2	斉 藤 孝 一	52-7779
		3	山 内 溥	43-3357
		4	松 本 謙 一	25-3071
		5	片 岡 幸	57-9253

昭和57年度 市選出県代議員（3ヶ年）

№ 代 議 員

1. 川 崎 正 士
2. 園 田 守 生
3. 山 室 紀 雄
4. 宇都宮 啓 一
5. 関 剛 一
6. 牧 野 敬 美
7. 菅 原 洋
8. 鈴 木 勝 志
9. 浜 坂 浩 一 郎
10. 田 島 宗 穂
11. 伊 東 隆 利
12. 坂 元 一 夫
13. 岩 本 義 人
14. 弥 政 富 士 雄
15. 堀 川 義 治
16. 坂 梨 常 太 郎
17. 才 田 雅 英

№ 予 備

1. 柿 原 康 男
2. 堀 川 秀 一
3. 栗 原 幸 紘
4. 富 岡 浩 雄
5. 元 島 博 信

№ 歯科医師国保組合会議員

1. 山 室 紀 雄
2. 宇都宮 啓 一
3. 坂 元 一 夫
4. 牧 野 敬 美
5. 田 島 宗 穂
6. 菅 原 洋
7. 栗 原 幸 紘
8. 富 岡 浩 雄
9. 元 島 博 信
10. 坂 梨 常 太 郎
11. 才 田 雅 英

№ 予 備

1. 柿 原 康 男
2. 堀 川 秀 一
3. 堀 川 義 治
4. 弥 政 富 士 雄

Ⅱ 市選出政治連盟評議員

1. 川 崎 正 士
2. 園 田 守 生
3. 浜 判 浩 一 郎
4. 関 剛 一
5. 鈴 木 勝 志
6. 柿 原 康 男
7. 堀 川 秀 一
8. 堀 川 義 治
9. 弥 政 富 士 雄

Ⅱ 予 備

1. 岩 本 義 人
2. 栗 原 幸 紘
3. 元 島 博 信
4. 富 岡 浩 雄
5. 坂 梨 常 太 郎
6. 才 田 雅 英

「フォートサークル同好会会員募集」

このたび、フォートサークル同好会を作りたいと思います。会員の皆様方の
多数の参加を御願い致します。

連絡先 坂本まで 電66-1358





浜坂 明先生

勲五等双光旭日章

受章祝賀会

昭和57年度春の叙勲並びに褒章の受賞者が発表されましたが、当県歯科界より、浜坂明先生が、勲五等双光旭日章を受章されました。

その受章祝賀会が、去る5月24日、ニュースカイホテルにて開催されました。

川崎市歯科医師会々長、宇治県歯科医師会会長ほか多くの参会者のもとで、浜坂先生の永年のご功績を称え、更に、今後なお一層のご活躍を期待して、終始なごやかな雰囲気の中で、盛大にとり行なわれました。

履 歴 書

本 籍 熊本市水道町五拾八番地
 現 住 所 熊本市北千反畑町4番2号
 氏 名 はま さか あきら 濱坂 明 生年月日 明治44年2月22日生

(学 歴 等)

昭和9年3月31日	九州歯科医学専門学校卒業
昭和9年7月29日	医籍登録 (歯科医籍第21401号)
昭和34年10月9日	医学博士の学位授与 (九州大学)

(官公庁関係歴)

自昭和23年9月1日 至昭和34年5月31日 (10年9月)	熊本県社会保険診療報酬支払基金審査委員
自昭和24年4月1日 至昭和44年3月31日 (20年)	熊本市高等学校歯科医
自昭和44年9月7日 至昭和42年5月31日 (8年)	熊本県国民健康保険組合連合会審査委員
自昭和42年6月1日 至昭和46年5月31日 (4年)	熊本県社会保険診療報酬支払基金審査委員
自昭和44年4月1日 至昭和47年3月31日 (3年)	熊本県歯科技工士資格試験委員

(民間関係歴)

自昭和9年4月20日 至昭和10年7月31日 (1年3月)	熊本県天草郡本渡町吉田歯科診療勤務
自昭和10年8月1日 至昭和19年8月1日 (9年1月)	熊本市新屋敷町において診療所開設
自昭和19年9月1日 至昭和20年8月20日 (1年)	北支那製鉄株式会社病院歯科勤務
自昭和21年9月1日 至現 在 (35年2月)	熊本市水道町において診療所開設

自昭和 22 年 4 月 1 日 (4 年)
 至昭和 26 年 3 月 31 日
 自昭和 33 年 4 月 1 日 (6 年)
 至昭和 38 年 3 月 31 日
 自昭和 38 年 1 月 22 日 (18 年 10 月)
 至現 在

熊本市歯科医師会理事

社団法人熊本県歯科医師会理事

熊本中央ライオンズ・クラブ員

昭和 41 年度 会 長

昭和 43 年度 地区会計監査委員

昭和 47 年度 地区 D・D・G

昭和 50 年度 地区ガバナー

昭和 52 年度 名誉顧問

自昭和 39 年 4 月 1 日 (8 年)
 至昭和 47 年 3 月 31 日

熊本歯科衛生士学院講師

自昭和 42 年 4 月 1 日 (4 年)
 至昭和 46 年 3 月 31 日

社団法人熊本県歯科医師会副会長

自昭和 44 年 4 月 1 日 (2 年)
 至昭和 46 年 3 月 31 日

社団法人日本歯科医師会代議員

自昭和 44 年 4 月 1 日 (3 年)
 至昭和 47 年 3 月 31 日

熊本歯科技工専門学校講師

自昭和 44 年 4 月 1 日 (12 年 8 月)
 至現 在

学校法人中島学園理事

自昭和 44 年 10 月 20 日 (12 年 1 月)
 至現 在

社会福祉法人山紫会、特別養護老人ホーム菊香園理事

自昭和 50 年 4 月 1 日 (6 年 7 月)
 至現 在

私立尚綱高等学校歯科医

(賞)

昭和 38 年 11 月 10 日

有功章授与 熊本市長

昭和 48 年 9 月 20 日

役員功労者表彰 社団法人日本歯科医師会会長

昭和 51 年 5 月 10 日

県歯科医師会功労者表彰 社団法人熊本県歯科医師会会長



川崎市歯科医師会会長



園田市歯科医師会副会長



西山県歯科医師会前会長



宇治県歯科医師会会長

母と子のよい歯のコンクール

昭和 57 年 5 月 22 日、熊本市歯科医師会主催により、熊本保健所において、「母と子のよい歯のコンクール」がおこなわれた。

出場者は、熊本市各保健所における 3 才児検診の際、特に、発育状態、並びに口腔内の健康状態が保持されていた 19 組が選出されこのコンクールに参加した。

診査は、歯牙、歯列、咬合、清掃に区分され歯牙状態を主に、診査を行なった。

診査は、熊本市歯科医師会の口腔衛生委員の 7 名で行なわれ、厳正なる診査の結果、優秀賞 2 組、優良賞 2 組のあわせて 4 組が選出された。次のとおりである。

優秀賞 田中文字子 ・ 智美

優良賞 小野照代 ・ 陽子

子供の方は満点状態が多く、母親の状態で、

左右される形になったようである。親の手本と、子供の積極性により、良い習慣が生ずればよいが、歯磨きという習慣さえ簡単にはできない。遊びに始まり、練習し、習慣化してゆく行動は、親子関係のなかでできてゆくものであり、親が手本となって子供に自分からやろうという力をつけてやらなければならないという健康管理の観念を植え付けねばならない。その実現がねらいであり、表彰の意味でもあることを考えると、今後一層の努力を必要とするようである。

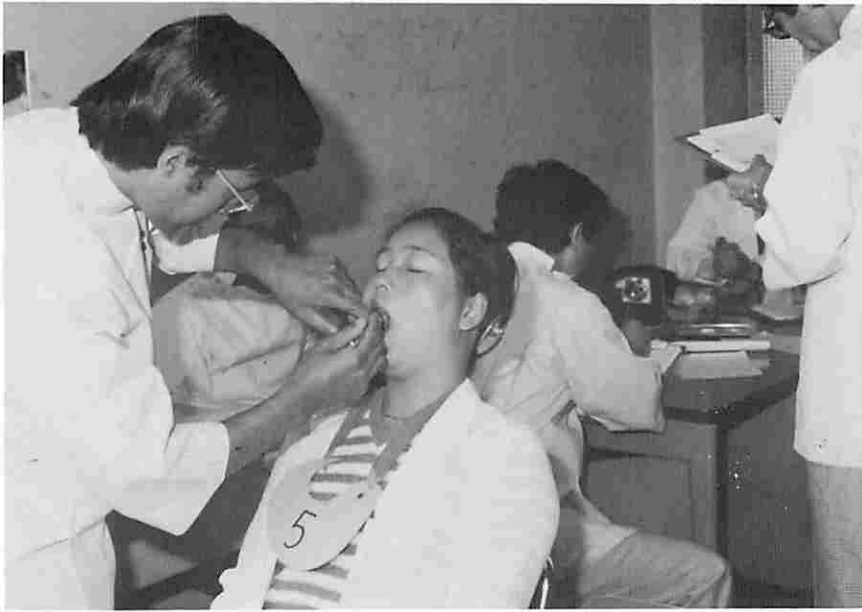
引き続き、川崎会長の出席のもとに表彰式が行なわれ、終了した。

関係者の方々の御協力に心より感謝致します。

矢毛石 豊記







学校保健会総会

57年度学校保健会総会が去る6月10日
産文会館7階大ホールで開催された。

- 内容 1. 開 会
2. 学校保健功労者表彰
3. 事業報告
4. 57年度役員改選
5. 57年度行事予定審議

上記の内容にて約1時間で終了した。

歯科医師会ではこの功労者表彰の中で学校歯科医として15年勤続という事で、一新小・木村豊先生と錦ヶ丘中木村義浩先生が表彰を受けられました。長い間の学校歯科医として、本会からもその御苦労に対し、心から感謝す

る次第である。

本会からは学校歯科委員会が出席した。

第3回 学校保健シンポジウム

テーマ「強く、たくましい児童・生徒の育成をめざして」——生活のリズムをとりもどすには——という事で6月10日産文会館7階大ホールで開催された。

問題提起が行なわれ、児童・生徒の実態と問題点ということでシンポジウムが行われた。

九州東海大学教授 西岡寅雄先生

熊本大学 鈴木康平先生

藤園中学校校医 菅 敏郎先生

以上のシンポジストを迎えて司会者に楠中学校校長 田中慶博先生で活発な意見交換が行われた。その中で西岡教授の活躍を紹介します。



(木村 豊先生)



(木村義浩先生 代行中川先生)

大脳生理からみた生活の リズムを考える

九州東海大学教授 西岡 寅雄

現在の小、中学生に半健康人が増加しつつある事は、誠に憂慮すべきことである。発育期の子供を強く、たくましく育てる為には、生活の中に身体活動を多く実施させ、筋力や心肺機能を高める事が必要である。その為には毎日、500 k.cal~600 k.calの運動消費が必要であるが、静的な遊びの多い子供達は100 k.calも使っていないし、脈拍が100以上になることも少ない。これでは強く、たくましい子供は育成できない。

運動やスポーツをやれば、勉強はできなくなると親も子供も考えているが、これがどのように関わりを持つかについて、大脳生理学の立場から考えてみたい。

(1) 大脳の分業体制

大脳の外側に新皮質（知恵の座）、内側に旧皮質（本能の座）があり、互に支え合

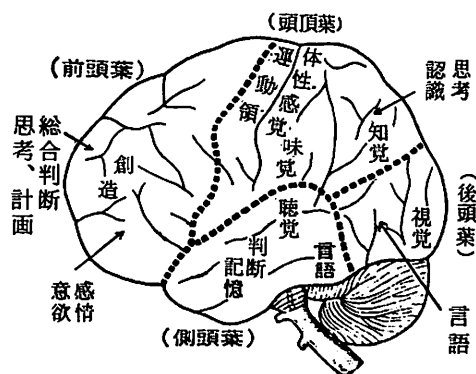


図2 大脳の区分

っており、どちらかに歪があれば、体や心の健康は損われる。

新皮質には思考、創造、意欲、理性、感情、運動、知能、判断、認識等の場所があり、互に協調して勉強や、運動を司っており、また分業体制をとっている。

(2) 大脳の周辺抑制と完全休息

運動の場所を使うと、周辺の知的な場所は押えられるが、その間その場所は完全休息ができる。疲労が全体に波及するまでやると抑制された場所が回復するのに時間がかかる。

運動前後の加算能力、文章暗記の再現時間の実験からも、運動は、大脳活動を活発にする事が実証されている。

(3) 消極休息と積極休息

精神的な疲労やストレスを解消する為に休息が必要であるが、テレビ、漫画、お茶等の静的な休息では、完全に疲労を回復することはできない。積極休息とは、積極的に体を動かすことにより、精神的な疲労を回復することである。家の附近を10分位走ったり、縄とびをする位でも効果はある。これまで使用しない大脳の部分を使うことによって回復時間は短縮され、過回復がみられ、精神活動は前より高率が高まる。ストレス解消の場合は、より楽しい運動をやる必要がある。このように運動は精神的ストレスを解消し、情緒を安定させる。

(4) 生活のリズムをとりもどす為の私案

家庭での学習は、学校生活での45分（小）、50分（中）の集中できる時間を

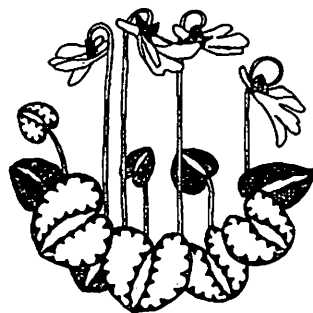
導入し、休息を入れてやるし、分業体制を利用して、記憶中心の教科、思考中心の教科と変えて学習させる事が望ましい。

テレビの視聴時間の長い事が、就寝時間を遅らせ、朝の目覚めを悪くしている。視聴時間を最大2時間位にし就寝を30分早めれば、朝の目覚めもよくなる。20分早く目覚めたら早朝の親(父)子の対話をしながらのジョギングでもやれば、心肺機能は高まり、親子の断絶も解消できるし、朝食抜きで登校したり、1時間目にボンヤリする子供もいなくなるであろう。

最後にテレビの視聴中のコマーシャルの時

間を利用した運動を是非実施して欲しい。テレビの前で、腹筋、脚筋、腕の筋、背筋、柔軟性等を家族ぐるみで実施すれば20分以上やることができる。1日の運動不足を解消できるだけでなく、筋肉を動かすことにより、大脳へ知覚神経から多くの目覚めの信号が送られ、大脳の働きを活発にする効果がある事にも実証されている。

本年度のシンポジウムは歯科というテーマが入っていなかった為に学校歯科医の出席があまり見られなかったようであったが、各学校との連絡を密にさせていただいて次回からは多くの学校歯科医の出席を希望します。



昭和57年度

第1回補助者講習会開催さる

昭和57年6月13日午前9時10分より、熊本市歯科医師会学術委員会主催により、熊本県歯科医師会館において補助者講習会が行なわれました。当日はあいにくの昨夜からの雨にもかかわらず47名の受講応募者中、46名という高い出席率のもとで始まりました。講習会はGC社の山田徹、菅沢康夫、水上京子、3氏の指導のもとに、講義と実習が行なわれました。当日の講義と実習の内容は次のとおりです。

講義内容

- ① リン酸亜鉛セメント及びグラスアイオノマーセメントの練和方法とその物理的特性について
- ② アルギン酸印象材の特徴と練和方法について
- ③ シリコン印象材の特徴と練和方法について

映 画

- ・横浜に開業の今村歯科医院におけるブラッシング指導について
- ・ミクロレストの充填法

実習内容

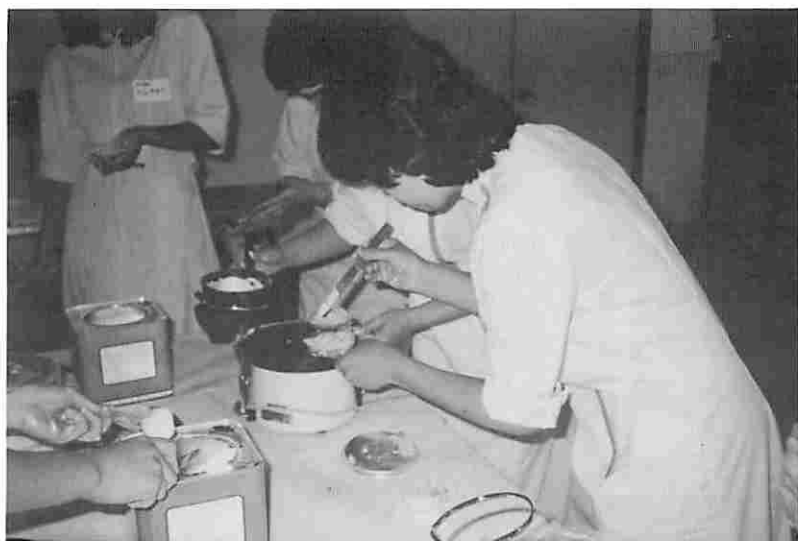
アルギン酸印象材、シリコン印象材セメント練和の3班に分かれて、模型を使用してのデモと実習。

以上が講習会の内容ですが、GC社の3氏の熱心な指導と充実した内容により、新人はもとよりベテランにも有意義な講習会でありました。

出席者は次の通りです。

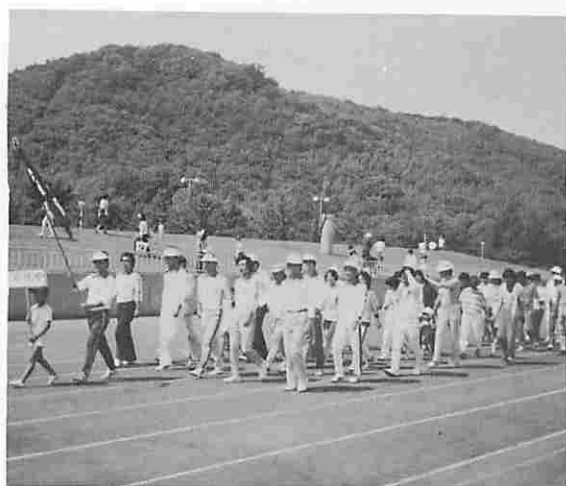
坂田 淳子	片山恵美子	野口喜代美
鞭馬 照子	蔵原まるみ	小里 伴子
岩野 文代	高沢 美鈴	富永 真理
奥村 浩美	新開 春代	沢尾美穂子
小林 由美	園 智美	米岡 容子
渡辺 則子	村上 直子	海崎 友子
阿部寿美子	福岡 尚子	上野ゆかり
馬場真由美	本田紀代美	藤本 栄子
長野 良子	練元 昌子	岡本 彩美
緒方 絹子	緒方てるみ	槌田 玲子
日元 直子	杉村さゆり	亀丸 和枝
小林久美子	甲斐みほ子	平山美代子
坂本 良子	大西 昌子	二宮ハルミ
夏木まゆみ	広石 美鶴	坂田 福代
宮本千賀子	城下ひづる	古寺 ゆみ
東土 香		

学術委員 斉藤 朗



新樹会恒例の大運動会

熊本県下の40才以下の会員で親睦を目的とした集まり、それが新樹会であるが、その行事の一つとして運動会が5月23日（日）県総合運動公園でなごやかに行なわれた。



入 場 行 進

まずは入場行進、写真の様にりっぱなものでした。そして片山幹夫議長の挨拶に続き、牧野敬美先生の長男 玄幸君の宣誓、その後片山議長の指導でラジオ体操が行なわれた（実は忘れてこのありさま）。

80メートル徒歩、玉引き、ラムネ飲み競争、パン食い競争、あめ食い競争、綱引き、人さがし等、たくさんの催しがあり、若い会員及びその従業員皆様の親睦は確実に達せられたものと思います。ただ問題は、翌日の階段の上り、下りに皆さん苦労なさったとか。

＜浜坂 浩記＞



ラ ジ オ 体 操



宣 誓



80メートル徒歩



玉引き

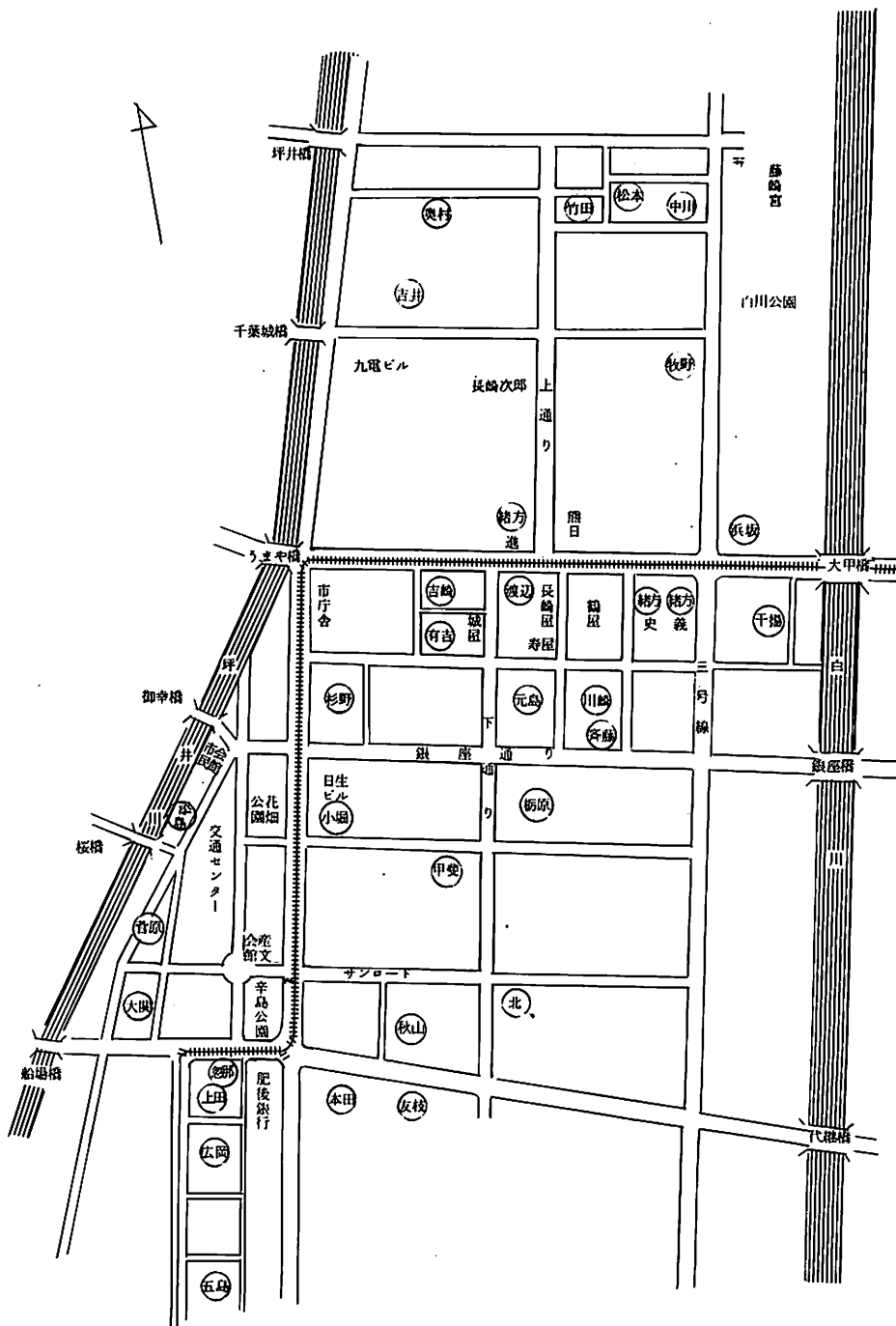


バン喰い競走

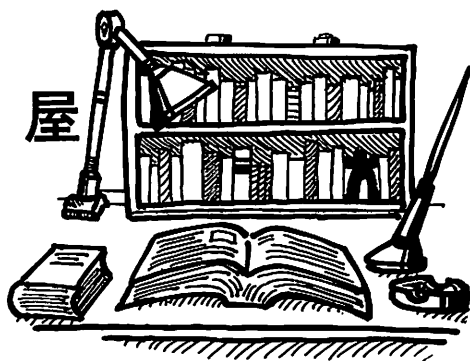
会 員 配 置 図

会 員 配 置 図 (中 央 部)

支 部 長 元 島 博 信
 診 療 所 数 3 2 件
 会 員 数 3 8 名 (親 子 会 員 含)



勉強部屋



咬合面形態について

浜 坂 浩

咬合で一番大事なことは中心咬合位で力を出来るだけ歯の長軸に向けることです。

二つの方法が考えられます。

A. 支持咬頭に対する座は、歯の長軸に垂直な平坦面上につくる。

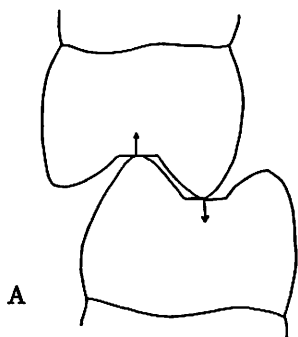
B. 相対する斜面上の支持咬頭の座

A. P.M.S. テクニックでもちいられる方法。製作が簡単で、上下顎別々に製作しても可能である。

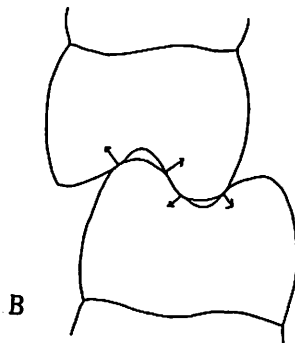
B. ナソロジーが好んで用いる方法。

実際は咬頭対窩が3点で接触する。ドロップ、ワクシングを用いて上下顎いっしょに製作しないとうまくいかない。また熟練を要する。

結論：Aの方法は技工士にとって理解もしやすいし、製作も簡単である。私は卒業以来10年余りこの方法でやってきました。弱点は咬頭頂が磨耗しやすいので、咬頭頂を約1mmぐらいの感じにすることです。

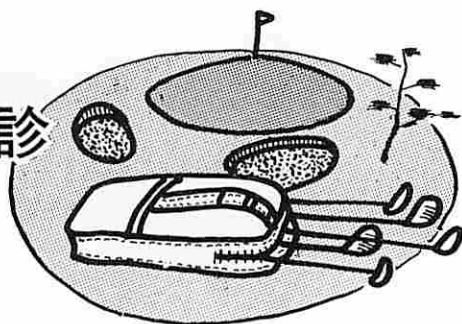


A



B

本日休診



私のヨットライフ

浜 坂 浩

ヨットを始めて10年と言うより結婚して10年、新婚当時家内とその兄と3人でボートショーに出かけ、「ボート免許は今取っとかないとこれからはとりにくくなるよ」と言うセールスの言葉にそそのかされ、申し込みをしたのがそもそもの始まり。

免許をとってみるとそれを活用したくなるのが人情、色々とカタログを調べると皆な高い、100万円以下などない。がっかりしていたら、あったあった、

ヨットなら安い、ヨットに小さなエンジンを付ければボート免許を活用できる。発泡スチロールを樹脂でカバーしたヨットが10万円、中古の船外機が2万円、計12万円で楽しめる計算だ。ボート屋に聞くとエンジンを乗せる事が可能だという。さっそく注文し、数日後に我家に届いた。6畳の部屋にはいってしまう程の大きさだ。でもうれしくてその夜はヨットの中で寝た。そしていよいよ土曜日。三角に持って行って浮かべた。我がヨットの進水式である。まずテストセーリング、快調だ、満足して桟橋にもどり、こんどはエ

ンジンを取り付けた、そして手を放した。その直後悲劇は起ったのだ、想像もしなかった事が起ったのである。

船はエンジンの重みで後から沈み始めたのである。あわてて引き上げエンジンをはずした。ものすごいショックである。泣きたかった。車に積んで帰りボート屋に文句を言った。しかしエンジンを取付けるように改造してしまったヨットである。引き取ってくれないかもしれない。でもエンジンを付けれると言ったから買ったのである。相手も悩んでいた。

そして恐る恐る彼は口を開いた。29万円でもっと大きなヤマハのヨットがエンジン付



エミタンⅡ世

で中古品があります。もしよろしければ差額でよろしいのですが……。一瞬とまどった、予算の2倍以上ではないか。ヨメさんの顔を見る。すると彼女がそれにしようよと言った。お金はなんとかなるでしょう。僕らにとっては急に豪価な買い物になったわけである。

こんどの日曜天草のマリーナに行ってください。但し、今年の保管料は払ってあるけど来年からは自分で払ってくださいとの事、これまた予算外だ。でも来年の事は来年考えようなんとかなるさ。

それからというものは毎週夫婦で週末には天草通いが始まった。土曜日に行き、ヨットに乗り、夜はテントをはって泊り、日曜の朝から又乗る。たんに熊本迄帰る時間がおしかったのである。実を言うとそれだけの理由ではない。29万もの大金をかけたんだからその分取りもどさなきゃばからしか、どちらかというと後者の方が強かったようだ。

所が、秋になると様子が変わってきた。寒いからではないマリーナには当然他の大きなヨットが置いてある。次第にそちらに目が向きだしたのである。

僕らのエミタンには寝る所がない。テント暮らしが面倒になってきた。そのままヨットで泊りたい。あの船だったらそれができさうなあー。でもあんなものは大金持ちのボンボンが持てるのであって僕らには無理、そう自分自身に言い聞かせひがんでいたのである。

それから説明しておかなければならない。エミタン号我等の愛艇の名前である。家内の恵美子からとった船名なのだ。

数日後、ショックすべき事実が判明したのだった。金持ちのボンボン用のヨットの中から幼なじみがでてきたではないか。オレより1つ年下のガラス屋の息子がその船のオーナーだったのだ。その時以来、羨望の的であった船が自分に近づいたような気がして来た。

そして一生懸命金を節約して貯めた。やりくりもした。金がどうやって出来たかは知らない。そっちの方はエミタンまかせである。



エミタン号

何しろ数ヶ月後の冬には土曜日の晩ヨットの中で寝ていたのである。エミタンⅡ世である。エミタンⅠ世はそのまま29万で下取りしてくれて残りの80万円はどうやって出来たか知らない。

どちらにしてもキャビン付のヨットの横腹にはエミタンⅡ世と大きく書き込まれてしまったのだ。

それから数年後、近見の武内先生の持ち船だったもっと大きなヨットの事を回りの皆はエミタンⅢ世と呼ぶようになった。そして4年後、エミタンⅠ世と同じ位の大きさのエミタンⅣ世というかセカンドヨットも手に入れたし、1年後には、八代の造船所で建造中の大きなヨットにはエミタンと書き込まれていたのであった。

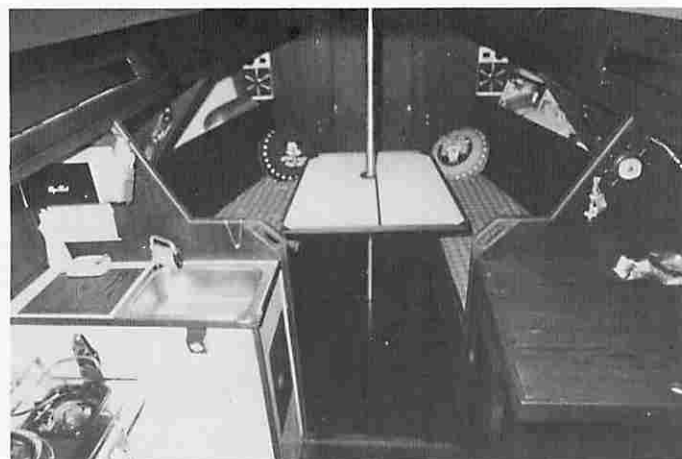
総額600万円、最初の12万からどうしてこうなったのか？ それはヨットだけに集中して来たのもあるが親父が医院の経営をまかせてくれて、働らけば働く程身入りがあるようになったからかもしれない。

現在では、会員のヨット人口は武内先生のロティウス、田島先生のサザンクロス、三隅

先生のイーグル、寺島、寺脇先生の“テラ”、そして私、浜坂のエミタン、それと不知火の田苗先生は世界選手権で一位になったマジシャン5を手に入れたり、それぞれの個性を生かしてヨットライフをエンジョイしていらっしゃいます。

ヨットシーズンなどありませんハーバーに

土曜日の晩来ていただくと年中だれかいます。どうぞ遊びに来て下さい。そして仲間入りして下さい。



エミタンⅤ世



エミタンⅣ世

昭和56年度熊本市歯科医師会歳入歳出決算書

収入済額 35,861,775 支出済額 18,505,484 残高 17,356,291

(歳入の部)

款	項	目	予算額	調定額	収入済額	未収額	備 考
1		会 費	13,685,698	19,398,719	19,398,719		一般会員1,000 親子会員5,000 特別会員50,000 終身会員4,200 勤務会員5,000 診療報酬 1,000 分の 1 一般の入会 8 名 特別会員入会 2 名 富士銀行 肥後銀行 生命保険手数料
	1	均 等 割	2,106,000	2,301,000	2,301,000		
	2	保険診療負担金	7,579,698	8,097,719	8,097,719		
	3	入 会 金	4,000,000	9,000,000	9,000,000		
2		寄 付 金	1,000				
3		過年度会費	16,053	8,243	8,243		
4		雑 収 入	7,059,459	8,103,987	8,103,987		
	1	預 金 利 子	483,044	941,983	941,983		
	2	雑 入	6,576,415	7,162,004	7,162,004		
5		前年度繰越金	4,738,581	8,350,826	8,350,826		
		計	25,500,791	35,861,775	35,861,775		

(保管区分) 肥後銀行 15,896,309 定期預金 17,000,000 未収入金 0
 " 1,620,706 当座預金 766,692 有形固定資産 884,100
 富士銀行 1,270,496 現 金 104,798 預 り 金 332,066

(歳出の部)

款	項	費 目	予算額	支払済額	予算残高	備 考
1		事 業 費	8,934,880	7,922,777	1,012,103	
	1	学 術 費	1,750,000	1,832,450	△ 82,450	
	2	口腔衛生費	960,880	944,835	16,045	
	3	社会保険費	670,000	366,860	303,140	
	4	医療管理費	874,000	645,100	228,900	
	5	広 報 費	1,950,000	1,482,090	467,910	
	6	厚 生 費	1,600,000	1,548,302	51,698	
	7	学校歯科費	780,000	864,140	△ 84,140	
	8	各種委員会費	200,000	204,000	△ 4,000	
	9	医 政 費	150,000	35,000	1115,000	
2		事 務 費	7,954,800	6,662,254	1,292,546	和文タイプ活字 1 ケース 30,000 S55年法人税支払 894,520 武日幸一 先生日本生命立替分雑損として 227,490
	1	渉 外 費	930,000	155,180	774,820	
	2	俸 給	2,268,000	2,196,300	71,700	
	3	諸 給 与	1,314,800	1,412,957	△ 98,157	
	4	旅 費	270,000	110,000	160,000	
	5	需用費	1,500,000	1,146,987	353,013	
	6	事務所費	72,000	72,000	0	
	7	備 品 費	200,000	30,000	170,000	
	8	雑 費	1,400,000	1,538,830	△ 138,830	
3		会 議 費	3,637,000	3,184,294	452,706	
4		職員厚生費	730,738	736,159	0	予備費より流用 5,421 職員厚生費へ流用
	1	退職積立金	360,000	360,000	0	
	2	厚 生 費	370,738	376,159	△ 5,421	
5		予 備 費	4,243,373		4,237,952	
		計	25,500,791	18,505,484	6,995,307	

昭和57年度熊本市歯科医師会歳入歳出現況 S 57. 4. 30 現在

収入済額 15, 203, 759 支出済額 833, 732 残高 14, 370, 027

(歳入の部)

款 項	費 目	予 算 額	収入済額	未 収 額	備 考
1	会 費	10, 367, 259	2, 028, 707	8, 338, 552	斎藤修身先生入会 (入会金返りで預り、5月の理事会にて諮る)
1	均 等 割	2, 253, 000	447, 000	1, 806, 000	
2	保険診療負担金	8, 114, 259	581, 707	7, 532, 552	
3	入 会 金		1, 000, 000	△ 1, 000, 000	
2	寄 付 金	1, 000		1, 000	
3	過年度会費	0		0	
4	雑 収 入	8, 190, 391	818, 761	7, 371, 630	肥後銀行(上通・普通預金) 264, 603
1	預 金 利 子	1, 092, 500	264, 603	827, 897	
2	雑 入	7, 097, 891	554, 158	6, 543, 733	
5	前年度繰越金	9, 047, 667	12, 356, 291	△ 3, 308, 624	
	計	27, 606, 317	15, 203, 759	12, 402, 558	

(保管区分) 肥後銀行 16, 894, 760 定期預金 17, 000, 000 未収入金 0
 " 1, 596, 706 当座預金 335, 900 有形固定資産 884, 100
 富士銀行 2, 239, 116 現 金 343, 735 預 り 金 308, 979

(歳出の部)

款 項	費 目	予 算 額	支払済額	予算残高	備 考
1	事 業 費	9, 490, 000	192, 000	9, 298, 000	南部支部会へ御轉 10, 000 市役所(衛生部長奥様へ弔慰金) 10, 000
1	学 術 費	1, 900, 000	24, 000	1, 876, 000	
2	口 腔 衛 生 費	1, 016, 000	24, 000	992, 000	
3	社会保険費	670, 000	21, 000	649, 000	
4	医療管理費	900, 000	24, 000	876, 000	
5	広 報 費	1, 920, 000	24, 000	1, 896, 000	
6	厚 生 費	1, 900, 000	27, 000	1, 873, 000	
7	学校歯科費	834, 000	27, 000	807, 000	
8	種各種委員会費	200, 000	21, 000	179, 000	
9	医 政 費	150, 000		150, 000	
2	事 務 費	7, 814, 040	360, 750	7, 453, 290	
1	渉 外 費	810, 000	20, 000	790, 000	
2	俸 給	2, 120, 400	176, 700	1, 943, 700	
3	諸 給 与	1, 341, 640	13, 660	1, 327, 980	
4	旅 費	270, 000		270, 000	
5	需 用 費	1, 500, 000	94, 390	1, 405, 610	
6	事 務 所 費	72, 000	6, 000	66, 000	
7	備 品 費	200, 000		200, 000	
8	雑 費	1, 500, 000	50, 000	1, 450, 000	求人広告料 24, 000
3	会 議 費	3, 658, 600	231, 460	3, 427, 140	
4	職員厚生費	761, 205	49, 522	7711, 683	
1	退職積立金	360, 000	30, 000	330, 000	
2	厚 生 費	401, 205	19, 522	381, 683	
5	予 備 費	5, 882, 472		5, 882, 472	
	計	27, 606, 317	833, 732	26, 772, 585	

会 務 報 告 3/13～ 5/20

月	日	行	事
3	13	医療管理委員会	
	18	総 会	
		選挙管理委員会	
	25	学術講演会	
	26	新役員との会合	
	27	学校歯科委員会	
	29	口腔衛生委員会	
		社保委員会	
		広報委員会	
4	8	理 事 会	
	11	永野 忠先生御母堂様御逝去	通夜12日(自宅) 葬儀13日(新町の正立寺)
	15	学術委員会	
	19	口腔衛生委員会	
	21	社保委員会	
	22	医療管理委員会	
		厚生委員会(県1F)	
	23	学校歯科委員会(県1F)	
		資格審議会	
	26	広報委員会	
5	7	厚生(小)委員会	
	13	厚生委員会	
	20	理 事 会	

会 務 報 告 5/21~6/23

月	日	行 事
5	2 1	学術委員会
	2 2	母と子のよい歯のコンクール（熊本保健所）
	2 6	厚生委員会
	2 7	社保委員会（県 1 F）
		広報委員会
	2 8	資格審議会
	3 1	医療管理委員会
6	5	歯の祭典
	6	”
	8	厚生（小）委員会
	1 1	医療管理委員会
		厚生（小）委員会（県 1 F）
	1 3	補助者講習会（1回目）（3 F ホール）
	1 6	口腔衛生委員会
	1 7	広報委員会
	1 8	厚生委員会
	2 1	医療管理委員会
	2 2	資格審議会
	2 3	理 事 会



新入会員紹介



氏名 齊藤修身 昭和24年8月25日生
自宅 熊本市野口町405 (TEL) 58-3700
診療所 " (TEL) "
趣味 特になし
好きなことば
なし

経歴

昭和53年3月 岐阜歯科大学卒業
昭和53年4月 同大学研究生
昭和54年5月より
昭和57年3月まで 渡辺歯科診療所に勤務
昭和57年4月12日 齊藤歯科野口診療所を開設

家族構成

診療所兼自宅に独居
他に、田崎2丁目4-30に父母が居住
齊藤 勸 大正4年7月5日生 父
齊藤 美恵子 大正8年生 母

新入職員紹介



氏名 弥上淳子 昭和35年12月6日
自宅 熊本市若葉5丁目18-8 (TEL) 69-0598
趣味 バドミントン、レコード鑑賞
好きなことば
なし

経歴

昭和54年3月 熊本信愛女学院卒業

家族構成

弥上 正勝 大正15年10月28日生 父
弥上 利子 昭和4年2月15日生 母

講演会・学会のご案内

◎学術講演会

テーマ 妊婦における歯科治療

講師 蓮田太一先生（慈恵病院）

先生のお話のあと、「質問に答える」という形の座談を計画しています。

と き 8月24日（火）7：00～

ところ 熊本県歯科医師会館

◎第4回熊本市歯科医師会学会（会員発表を主とした学会）

テーマ よりよき歯科医療を求めて 私達はこうやっている

特別講演

横田 亨先生（大分県日田市開業）

一般講演

会員発表（個人発表あるいはスタディグループの発表）

と き 10月24日（日）

ところ 熊本県歯科医師会館

一般講演申し込みしめ切り、8月20日 ふるって御参加下さい。

編集後記

暑中御見舞申し上げます。酷暑の中会員の皆様には診療に御精励の事と存じます。新年度になってはや3ヶ月すぎ、7月25日にはバレーボール大会が開かれます。多数の先生方、御家族の皆様、従業員の出席をお願い致します。こういう企画が沢山あって会員の皆様の親睦に役立ってほしいものです。これからも会員は心をつなげて、何事にもあたりたいものです。色々な催し、会への御要望、その他何でも結構ですから、会員の皆様の御投稿をお願い致します。

広報委員

熊本市歯科医師会会誌

第 4 0 号

発行日 昭和57年 7月10日発行

発行所 熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目3番6号

TEL(43)6669

発 行 川 崎 正 士
責任者

印刷所 コロニー印刷

熊本市二本木3丁目12-37

TEL(53)1291